

第1号様式（第5条関係）

戸田市市民活動サポート補助金応募用紙（2っこり・10じつ）

（宛先）  
戸田市長

2019年 4月 15日

団体名 とだニャン  
 代表者氏名 稲井田幸子  
 代表者住所 XXXXXXXXXX  
 代表者連絡先 XXXXXXXXXX

コース	2（に）っこりコース	10（じゅう）じつコース
事業名	戸田市地域猫推進事業	
補助年数	1年目	2年目
実施期間	2019年 4月 1日 ～ 2020年 2月 15日	
事業総額	1,245,838 円	
補助対象経費	906,838 円	
補助金申請額	634,786 円	
確定前交付の希望	希望する	希望しない
申請中又は交付予定の補助制度	名称	
	実施主体	
連絡担当者	氏名	稲井田幸子
	住所	<span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span>
	電話	<span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span>
	Fax	なし
	Email	<span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span>

《団体の概要》

団体名	とだニャン
ホームページ	<a href="https://ameblo.jp/sakutotaro203/">https://ameblo.jp/sakutotaro203/</a>
設立年月日	平成 26 年 4 月 1 日 設立
会員数	6 人
年会費	1000 円 / 1 年間
団体の目的	餌やりトラブル、糞用被害など悪化した環境を改善するために不妊・去勢手術でこれ以上増やさない活動をしています。 手術済の猫には目印として耳カットをし、餌の管理・フンの清掃・地域周辺の美化など地域のルールに基づいて、適切に飼育管理していくための地域猫活動を推進していくことを目的としています。
主な活動実績	<p>●TNR 活動                      (TNR とは・・・Trap : トラップ (捕獲) Neuter : ニューター (不妊や去勢手術を施す) Return : リターン (元の場所へ戻す) ことをいう。                      平成 26 年 5 月からこの事業を開始し、平成 31 年 2 月までにメス 248 頭オス 176 頭合計 424 頭の手術を実施してきました。</p> <p>●里親会 平成 26 年 5 月から平成 31 年 2 月までに子猫については 89 頭保護し、85 頭を里親さんへ譲渡しました。(内 4 頭死亡)</p> <p>●負傷猫の保護&amp;治療 平成 26 年 5 月から平成 31 年 2 月までに 22 頭保護し治療してきました。</p>
昨年度の補助金等の援助状況	平成 30 年度戸田市市民活動サポート補助金より 775,683 円交付して頂きました。
団体PRなど	<p>飼い主のいない猫 (野良猫) の増加は、誰にとっても好ましいことではありません。</p> <p>餌を与え始めた時から不妊去勢手術をしていけばここまで猫が増えて困ることはなかったのに、と思う場所をいくつも見てきました。「手術代が高い」「猫が捕まらない」「病院に運べない」というのが、猫を増やしてしまう 3 大理由です。</p> <p>これ以上増やさないためにも徹底した TNR 活動で餌やりトラブルのない、住みよい町づくりを目指して行きたいと思います。</p> <p>* 日々の活動状況については代表ブログをご覧ください。</p>

## 《事業計画書》

### 1 事業名

戸田市地域猫推進事業

### 2 事業を実施する背景・きっかけ・動機

餌のばら撒き、糞尿被害、爪とぎ、マーキングによる悪臭など各地で近隣住民との餌やりトラブルが発生している。

この悪化した環境を改善するために不妊・去勢手術をしてこれ以上増やさないようにするために地域猫活動を始めました。

当会は殺処分ゼロを目指しています。

犬猫別で見ると、猫の処分数は犬の約 2.5 倍あり、埼玉県においては平成 29 年度の殺処分数は犬 241 頭、猫 672 頭、合計 913 頭と平成 28 年度と比べ 1.2 割減となっており徐々に減りつつあります。

猫の殺処分数が 672 頭と圧倒的が多い理由として、まだ人間の手が入っていない野良猫が多く生息し、処分数の 7 割から 8 割が生後間もない子猫であることから人間によるコントロール（不妊・去勢手術）が追いついていない状況だと思えます。

殺処分を減らし「ゼロを目指すためには「地域猫活動」を推進することが重要であると考えています。

この地域猫活動が地域ぐるみの住民活動として定着させるためには、市町村の理解と協力が不可欠であることから、市町村による活動ボランティアへの財政支援の仕組みが必要と考え、事業を開始し応募しました。

### 3 事業の目的

●計画的な TNR 活動で野良猫を減らしていく。

平成 27 年から平成 29 年までの 3 年間は埼玉県保険医療部生活衛生課の地域猫活動モデル事業計画の補助金を受けこれまでに新曽地区の猫メス 142 頭オス 105 頭合計 247 頭を手術をしてきました。

平成 30 年度は戸田市市民活動サポート補助金を受け、エリアを戸田市全域に拡大し、この 1 年間でメス 46 頭・オス 34 頭・耳カットのみ 2 頭合計 82 頭不妊・去勢手術をしてきました。

本年度についても TNR の有効性を戸田市全域に展開し、徹底した TNR で野良猫を

減らし、手術済の猫は適正に管理し、近隣住民の生活環境を保全してこれ以上増やすことなく一代限りの命を全うさせ、徐々に数を減らしていくことを目的としていきたいと思っています。

●近隣住民とのトラブルの一番の原因は糞尿トラブルです。このトラブルを回避するためには糞尿の始末をするための猫トイレが必要です。

糞尿被害を軽減するために 2019 年度より糞尿被害撲滅キャンペーンを始めて行こうと思います。

#### 『キャンペーンの内容』

猫トイレの作り方、費用、猫が実際に糞をしているところをチラシにしました。

チラシの右下にクーポン券の枠を作りました。

猫トイレを作り、実施出来た方(条件付き)には手術代 1 頭分無料というキャンペーンです。

このチラシは餌をあげている人や里親会などで配って行きたいと思っています。

#### ●治療費

(子猫を保護した場合)

風邪の治療、ウィルス検査、ワクチン、糞便検査、ノミ・ダニ駆除の初期費用で 13,000 円近くかかります。

(TNR の時捕獲した猫の場合)

外傷的な怪我は縫合と抗生剤の注射で 10,000 から 15,000 円位。

(病気猫の場合)

お口のトラブル(ヨダレ)の場合、スケーリング(歯石取り)または抜歯で 20,000 円から 30,000 円位。

その他、エイズ発症、白血病、腎臓肝臓の病気など体内部の病気だった場合長期に渡り治療が必要となるため費用は未定。

野良猫にかかる治療費は平均して年間 50 万位です。

●町会掲示板へ地域猫を推進するためのポスターを貼らせて頂く。

ネットが見れる環境に無い方(高齢者など)は地域猫を知りません。

ただ餌をあげているだけなので増えているのが現状です。

ネットが見れる環境に無い方にも TNR の有効性を知ってもらうために町会掲示板にポスターを貼らせて頂く活動を始めたいと思います。

#### 4 事業を実施することで予想される効果

本事業を行ったことで野良猫が減った、猫が増える心配がなくなった、など迷惑感情の緩和が見られ、糞尿被害についても改善されたとの声が多く聞かれました

またこの5年間で、「子猫をほとんど見かけなくなった」との声も多く寄せられており、野良猫問題の対策として一定の成果がありました。

平成30年度は会社からの手術依頼もくるようになりました。  
会社で餌をあげているのではなく近所に住み着く野良猫の手術依頼でした。  
会社もこの地域猫活動に賛同し協力して頂けるようになりました。

平成31年4月は下前町会と一緒に下前公園付近にいる野良猫5頭以上をTNRする予定です。

これを機に他の町会へも横展開出来るよう掲示板へのポスター掲示などで地域猫の必要性を広めていきたいと思えます。

活動を始めて5年。少しずつではありますがこの地域猫活動が地域コミュニティの活性化や地域の環境美化活動の手段としても有効である事と、野良猫減少により糞尿被害の軽減にもつながるものとして、有効且つ公益性の高いものとして認められるようになりました。

今後も継続して地域猫の必要性を広め、TNRを実施し、野良猫を減らして行きたいと思えます。

里親会の会場として戸田市の■■■■様より戸田駅前のコインパーキングだけではなく本町にある■■■■様からも病院内を無償で貸して頂けることになりました。

2ヶ月に1回の里親会も継続して開催して行きたいと思えます。

5 具体的内容

- ①野良猫の不妊・去勢手術を行う（TNR）。
  - ・不妊・去勢手術の実施（手術後は目印として耳カットをする）
  - ・月1回の活動でMax15頭まで捕獲可能。
  
- ②手術を施した猫は元の場所に戻す。
  - ・餌をあげている人に置き餌はせずに食べ終わったら片付けてお掃除をして頂くのと糞尿被害撲滅キャンペーンのクーポン券のお渡しして実行して頂くようお願いしていこうと思います。
  
- ③近隣住民に手術済の報告としてチラシのポスティングをする。
  
- ④里親会の開催。
  
- ⑤年に1回総会を開催する。

6 事業実施のスケジュール

月日	内 容
毎月	TNR活動（手術を施し、元に戻すこと）
里親会	2ヶ月に1回のペース

## 7 事業の実施体制

基本は月 1 回の活動で Max15 頭まで捕獲可能。繁殖期には月 2 回やることもある。

代表に手術依頼が入る。下見に行き、猫の状況を確認し、依頼者に日程と捕獲からリリースまでの流れを説明する。

本番当日は各場所に会員（捕獲隊 3 名）を配置し、ご近所や餌やりさん立会いの元、一斉に捕獲を行う。捕獲した猫は、全頭代表が預かり、翌日病院へ搬送する。リリースは代表と会員 1 名の合計 2 名で行う。餌やりさんに立ち会ってもらい、戻す猫の確認と今後の管理として餌やりマナーや糞尿始末のアドバイス、糞尿被害撲滅キャンペーンのクーポン券をお渡しし、実行して頂くようお願いする。

その後、手術完了お知らせのチラシをポスティングする。（約 30 枚ポスティング）

## 8 事業実施の際に予想される課題

飼い主のいない猫を減らし、地域猫として地域で共生していくことができると猫の苦情は減少します。それには去勢・不妊手術費用の予算の確保が課題になります

未だに遺棄事例がみられ、継続した取組と、遺棄防止対策の強化が必要です。併せて、遺棄は犯罪であることへの認識と、住民の動物愛護と適正管理に関する意識改革が必要です。

## 9 事業の成果目標（具体的数値を用いてください。）

平成 26 年 5 月からこの事業を開始し、平成 31 年 2 月までにメス 248 頭オス 176 頭合計 424 頭の手術を実施してきました。

不妊手術を施さなかった場合、メス猫 1 頭あたり年間 8 匹の子猫を生むと仮定して試算すると、1984 頭の子猫が生まれずに済んだこととなります。戸田市の補助金が始まった平成 30 年度からは戸田市全域へと展開し、平成 30 年度の 1 年で 82 頭の手術をしてきました。今後も継続し、戸田市全域にこの事業を展開し、年間 100 頭を目標として実行して行きたいと思っています。

## 10 補助終了後に当該補助金に頼らずに事業を継続していく方法

- どうぶつ基金の無料チケット
- 埼玉県彩の国動物愛護推進員活動補助事業  
（年間で最大 5 万円の補助金が受けられます）
- 募金

《収支予算書》

【収入】

科目		予算額	内訳
補助金・ 助成金	市民活動サポート	634,786	戸田市市民活動サポート補助金
	その他	0	
自己資金		272,052	
会費		3,000	
利用者負担金		216,000	TNR手術代@3000 X 72頭分
協賛金・寄附		120,000	動物病院（治療費）
その他		0	
合計		1,245,838	

【支出】

	科目	予算額	内訳	
補助 対象 経費	委託費	731,900	動物病院手術代等 ・不妊去勢手術@5400 X 8頭 X 9ヶ月=388800円 ・妊娠猫堕胎@2160 X 5頭=10800円 ・メス抗生物質注射@3780 X 35頭=132300円 ・譲渡用の保護子猫の病院代 20頭 X @10000=200000円	
	消耗品費	146,988	餌、トイレ代	
	印刷製本費	27,950	ポスター600枚	
	小計	906,838	内訳 補助金申請額：634,786 自主財源 272,052	
	補助 対象 外 経費	委託費	339,000	譲渡用以外の猫治療のための病院代
小計	339,000			
合計	1,245,838			